

パワーセービング機能について

本機は工場出荷時に「パワーセービング機能」をONに設定してあります。

※パワーセービング機能とは、暗いところに放置すると自動的に液晶表示を消してスリープ状態にし、節電する機能です。

※時計が袖などで隠れている場合でも、表示が消えることがあります。

●スリープ状態になるには

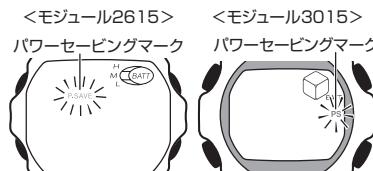
- ・表示スリープ

午後10時～午前6時の間、暗いところで本機を約1時間放置します。

⇒液晶表示が消え、パワーセービングマークが点滅します。

アラーム・時報の報音は行ないます。

※タイマーモード、ストップウォッチモードのときは、スリープ状態になりません。



※モジュール番号は時計本体裏面に刻印されています。

- ・機能スリープ

表示スリープのまま暗いところで6～7日間経過します。

⇒パワーセービングマークが点滅から点灯にかわります。

アラーム・時報の報音は行ないません。

※時計機能は正常に作動しています。

●スリープ状態を解除するには

本機を明るいところに置くか、いずれかのボタンを押すか、オートライト「ライトを点灯させる」のように傾けたりします。

※本機を明るいところに出した場合は、表示が点灯するまで最大2秒かかる場合があります。

●パワーセービング機能のON／OFF

パワーセービング機能を働かせなくするには「時刻・カレンダーのセット」をご覧になり、パワーセービング機能をOFFにしてください。

机の中などに長期間しまっておくときは、パワーセービング機能をONにしておけば、節電効果があります。

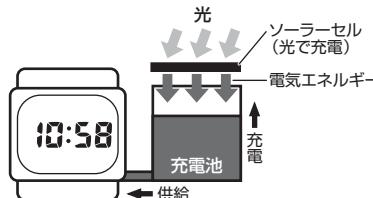
十分に光を当ててご使用ください

本機は、光で発電した電気を充電しながら使うようになっております。

安定してお使いいただくためには、本機のソーラーセルに光が当たるようにしてお使いください。

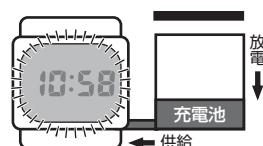
●光が当たっているときと当たらないとき

〈光が当たっているとき〉



●ライト（表示用照明）をたくさん使うと

ライトを多用すると充電池の容量は早く減ります。



オートライト機能を使うと、頻繁にライトが点灯する状態になりますのでご注意ください。

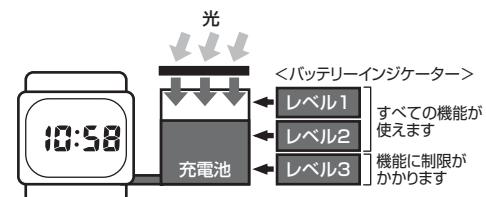
〈光が当たっていないとき〉



時計は光が当たらないときでも常に動いていますので、このままでは充電池の容量が減って機能が使えなくなります。

●時計に光が当たるようにしましょう

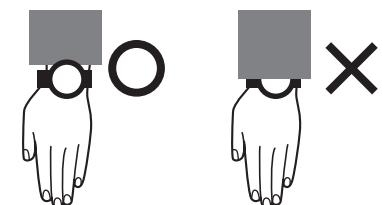
・電池容量を示すバッテリーインジケーターがレベル3になると機能に制限がかかりますので、レベル1、レベル2を保つように光を当ててください。



・腕から外したときは表示面（ソーラーセル）を明るい方に向けて置くなどして、充電を心掛けてください。



・腕に付いているときはなるべく袖が表示面（ソーラーセル）にかからないように使用してください。

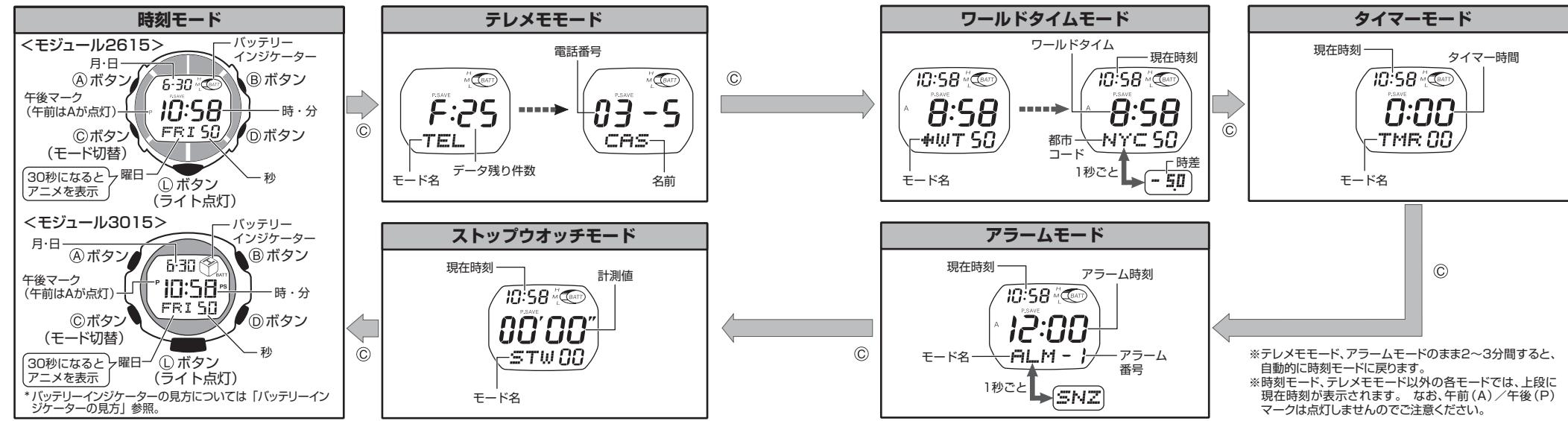


一部でも袖に隠れると、充電効率が著しく低下します。

操作のしくみと表示の見方

◎ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。

※本書の表示例はモジュール2615を使用しています。(モジュール番号は時計本体裏面に刻印されています。)



電源について

本機はソーラーセルで発電し、二次電池に充電しながら使うようになっております。

光が当たりにくい場所での保管および使用、長袖で本機が隠れたままの使用が長時間続きますと、二次電池が消耗して表示しなくなることがあります。

安定してご使用いただくために、なるべく光が当たるようにしてお使いください。

二次電池が消耗して時計機能が停止すると(レベル4)、メモリーされているデータや設定は消去されます。

●リカバーマークが点滅している場合

ライトやアラームなどを短時間に連続して使用し、電池に大きな負担がかかった場合、リカバーマークが点滅して、一時に以下の操作ができなくなります。

- ELバックライトの点灯
- アラーム・時報などの報音

この場合は、時間がたてば電池電圧が復帰し、使用できるようになります。



●バッテリーインジケーターの見方

	モジュール2615	モジュール3015	
レベル1			すべての機能が使用可能
レベル2			すべての機能が使用可能
レベル3			液晶表示不可、EL点灯不可、アラーム・時報などの報音不可
レベル4			時計発振不可(時計機能停止)

※直射日光下などの強い光で充電した場合、バッテリーインジケーターが一時的に実際の電池容量より高いレベルを表示することができます。レベルは充電後しばらくしてから確認してください。

※レベル4になても再度充電を行なうことで使用できます。

※レベル4から充電したときは、レベル3になると表示が点灯しますので、時刻・カレンダーを合わせてください。ただし、その他の操作はできませんので、レベル2またはレベル1になるまで十分に光を当ててからご使用ください。

●充電必要サイン

レベル3の状態は、電池残量が極端に少なくなっています。このときは、本機を光に当てて、十分に充電を行なってください。

●充電時の注意

以下のような高温下での充電はお避けください。

- 炎天下に駐車中の車のダッシュボード
- 白熱ランプなどの発熱体に極端に近い所
- 直射日光が長く当たって、高温になる所

なお、極端な高温下では液晶パネルが黒くなることがあります、温度が下がれば正常に戻ります。



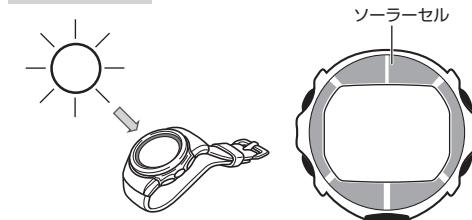
充電の際、光源の条件によっては時計本体が極端に高温になることがありますので、やけどなどをしないようにご注意ください。

●充電のしかた

本機のソーラーセル部を光源に向けます。

※ソーラーセルの一部が隠れていると充電効率が下がりますので、ご注意ください。

例) 時計の置き方



※イラストは樹脂バンドの場合です。

●充電の目安

本機は一度フル充電すると、充電しなくても下記の条件で使用した場合に約12ヶ月動き続けます。

※フル充電からレベル3になるまで。

1日あたりの使用量

- ELバックライト: 約1.5秒間
- アラームの報音: 約10秒間
- タイマー: 1回
- 表示点灯: 約18時間

<1日あたりの回復充電時間>

環境(照度)	充電時間
晴れた日の屋外など(50,000ルクス)	約5分
晴れた日の窓際など(10,000ルクス)	約24分
曇り日の窓際など(5,000ルクス)	約48分
蛍光灯下の室内など(500ルクス)	約8時間

●各レベルに回復するための充電時間

環境(照度)	充電時間
レベル4 → レベル3 → レベル2 → レベル1	
晴れた日の屋外など(50,000ルクス)	約90分 約25時間 約7時間
晴れた日の窓際など(10,000ルクス)	約6時間 約126時間 約35時間
曇り日の窓際など(5,000ルクス)	約11時間 -----

※この充電時間は目安のため、実際の環境下においては充電時間が異なる場合があります。

表示照明用 EL バックライトについて

本機の表示部にはELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けると暗いときにライトが点灯するオートライト機能もあります。

■ボタンを押して点灯させる ～手動点灯～

どのモードのときでも、

①ボタンを押します

- ①ボタンを押すと約1.5秒間ライトが点灯します。
- ※時刻モードのときは、ライト点灯に合わせてアニメを表示します。
- ※オートライトOFFのときは
 - ①ボタンを押すと点灯します。



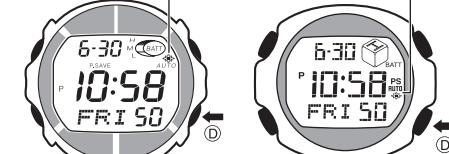
本機を振ると「カラカラ」と音がすることがあります。これはオートライト機能のためのスイッチ（金属球）が内部で動くための音で、故障ではありません。

■時計を傾けて点灯させる ～オートライト機能～

オートライトは、ボタンを押さなくても暗いときに時計を傾けるだけでライトが点灯する便利なフルオートライト機能です。
※明るいときは、自動点灯しません。
暗い場所で時刻などを見るときに大変便利です。オートライト機能では、どのモードのときでも、時計を傾けるだけでライトが約1.5秒間点灯します。

準備：時刻モードのとき ①ボタンを約2秒間押し続けて、オートライトON（オートライトONマーク点灯）にします。

<モジュール2615> <モジュール3015>
オートライトONマーク オートライトONマーク



※オートライトONのとき、①ボタンを約2秒間押し続けるとオートライトOFF（オートライトONマーク消灯）に戻ります。

●ライトを点灯させる



※オートライト機能を使用するときは、時計を「手首の外側」にくるようにつけてください。

※文字板の左右（3時～9時方向）の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると点灯しにくくなります。



〈ご注意〉

- 直射日光下ではライト点灯が見えにくくなります。
- ライト点灯中に①ボタン以外のいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。
- ライト点灯中に時計本体より音が聞こえることがあります。これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

タイマーの使い方

タイマーは1分単位で100時間までセットできます。セットした時間を経過（タイムアップ）すると10秒間の電子音が鳴ります。

また、タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリピートタイマーとしても使えます。

■タイマー方法について

本機のタイマーは以下の2種類があり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます。

●リピートタイマー（繰り返し計測）

タイムアップすると計測が止まります。約10秒後にタイマー時間表示に戻ります。

●オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）

タイムアップしても、計測ストップするまで自動的に同じ時間で繰り返し計測します。

※オートリピートタイマーを選ぶと“♪”マークが点灯します。

※繰り返し計測は合計8回行なうと、自動的に計測がストップします。

時刻モードから②ボタンを3回押して、タイマーモードに切り替えます。

■タイマーのセット

1. セット状態にする

②ボタンを約1秒間押します

→「時」が点滅します。

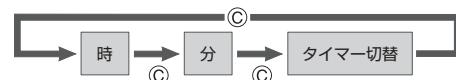


※計測ストップ状態からは、セット状態に切り替わりません。このようなときは、②ボタンを押してタイマー時間にリセットしてから、②ボタンを約1秒間押すとセット状態になります。

2. セット箇所を選ぶ

③ボタンを押します

→③ボタンを押すごとに点減箇所が以下の順で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。



3. 点減箇所のセット ★「時」「分」セットのときは…

②または③ボタンを押します

→②ボタンを押すごとに1つずつ進み、③ボタンを押すごとに戻ります。

※②・③ボタンとも、押し続けると早送りができます。

※タイマー時間を100時間に設定するときは表示を“0:00”にします。



★「タイマーチェンジ」のときは…

②ボタンを押します

→②ボタンを押すごとにオートリピートタイマーとリピートタイマーが切り替わります。

※ONになると、オートリピートタイマーになり、オートリピートマーク“♪”が点灯します。



4. セットを終わる

④ボタンを押して、点滅を止めます

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

〈オートライトご使用時の注意〉

●オートライトを頻繁に使用すると電池の持続時間が短くなりますのでご注意ください。

●時計を傾けたとき、ライトの点灯が一瞬遅れことがあります。異常ではありません。

●ライト点灯後、時計を傾けたままにしておいても、点灯は約1.5秒間のみとなります。

●時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても点灯することができます。オートライトを使用しないときは必ずOFFにしておいてください。

※時計を「手首の内側」につけるときはOFFにしておいてください。

●静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、点灯しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも点灯しにくいときは、腕を下からぶりあげてみると点灯しやすくなります。

■タイマーの使い方(減算計測のしかた)

①ボタンを押します

→①ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。
※計測は1秒単位で行ないます。



●計測ストップ後②ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります。(リセット)。

●ロストップがあるときは、①ボタンでストップ後、もう一度①ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

■タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

■鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

テレメモの使い方

テレメモモードでは、名前（8文字）と電話番号（12桁）のデータを最大30件メモリーできます。

※テレメモモードに切り替えると、データ残り件数を表示後、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

■データのサーチ

①または②ボタンを押します

→①ボタンを押すごとにデータが順番に進み、②ボタンを押すごとに戻ります。

※①・②ボタンとも、押し続けると早送りができます。

※名前が4文字以上のときは、右から左に流れで表示されます（名前の最後に“<”マークがつきます）。

※電話番号が5桁以上のときは、2秒ごとに切り替わって表示されます。

電話番号（上4桁）



名前

2秒ごと

電話番号（中4桁）



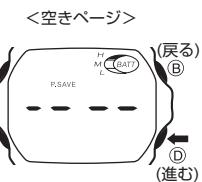
電話番号（下4桁）

時刻モードから②ボタンを1回押して、テレメモモードに切り替えます。

■データを入力する

1. 空きページを選ぶ

①または②ボタンを押して、空きページを表示させます



※空きページは入力してあるデータの最後に表示されます。

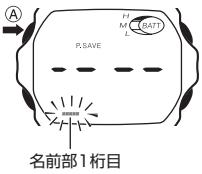
※データがすでに30件メモリーされているときは、“FULL”と表示されます。不要なデータを消去してください。

*「データを消去する」参照。

2. セット状態にする

①ボタンを約1秒間押します

→名前部1桁目が点滅します。



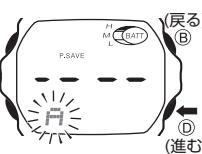
名前部1桁目

3. 点滅箇所のセット

①または②ボタンを押します

→①ボタンを押すごとに点滅箇所の文字（数字）が進み、②ボタンを押すごとに戻ります。

※①・②ボタンとも、押し続けると早送りができます。



手順3.と4.の操作を繰り返して、データを入力していきます。

※名前は最大8文字、電話番号は最大12桁まで入力できます。

※入力できる文字は、名前部セットのときは（空白）、アルファベット（A～Z）、数字（0～9）、記号（- : /）で、電話番号部セットのときは-、0～9、（空白）です。

5. セットを終わる

①ボタンを押します

→名前部の1桁目が点滅して、引き続き他のデータを入力することができます。もう一度①ボタンを押すと、点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

※データを入力すると、名前順に並び替え（自動ソート*）が行なわれます。

*自動ソート… 記憶されたデータは名前の先頭から比較し、（空白）、アルファベット（A～Z）、数字（0～9）、記号（- : /）の順で自動的に整理されます。

■データを修正する

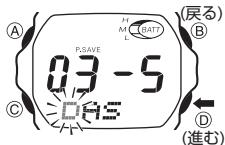
1. ①または②ボタンを押して修正したいページを選びます

2. ①ボタンを約1秒間押します

→名前部の1桁目が点滅します。

3. 修正したい部分まで②ボタンを押して点滅を送り、①または②ボタンを押して文字（数字）を修正します

4. 修正が終わりましたら、①ボタンを押します



■データを消去する

1. ①または②ボタンを押して消去したいページを選びます

2. ①ボタンを約1秒間押します

→名前部の1桁目が点滅します。

3. ①ボタンと②ボタンを同時に約2秒間押します

→“CLR”点滅後、確認音が鳴り、データが1件消去されます。

※データ消去後、引き続き他のデータを入力することができます。

4. 消去が終りましたら、①ボタンを押します



ワールドタイムの使い方

ワールドタイムモードでは、世界27都市（29タイムゾン）の時刻を簡単に知ることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市の時刻を表示します。

※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。

※基本時刻を24時間制にしているときは、ワールドタイムも自動的に24時間制で表示されます。

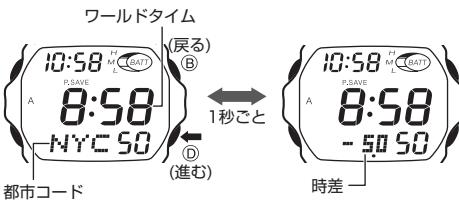
■都市のサーチ

①または②ボタンを押します

→①または②ボタンを押すごとに各都市の時刻を表示します。

※①・②ボタンとも、押し続けると早送りができます。

※「都市コード」と「時差」は1秒ごとに切り替わって表示されます。



■サマータイム(DST)について

サマータイムとはDST (Daylight Saving Time)とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■サマータイムのON/OFF設定

1. 設定したい都市を選ぶ

①または②ボタンを押します

→①または②ボタンを押して、設定したい都市コードを選びます。

2. セット状態にする

①ボタンを約1秒間押します

→“DST”と“On”または“Off”が点滅します。



■ON/OFFを切り替える

①ボタンを押します

→サマータイムのON/OFFが切り替わります。



* On = サマータイム ON (夏時間)

* Off = サマータイム OFF (通常時間)

* サマータイムをONにすると、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間早くなります。

* 各都市ごとにサマータイムを設定することができます。ただし、“GMT”表示のときはサマータイムの設定はできません。

4. セットを終わる

①ボタンを押して、点滅を止めます

* 点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

* サマータイムがONのときは、時差の前に“D”マークが表示されます。

3. 「時」のセットに切り替える

①ボタンを押します

→「時」が点滅します。



4. 「時」のセット

①または②ボタンを押します

→①ボタンを押すごとに1つずつ進み、②ボタンを押すごとに戻ります。

※①・②ボタンとも、押し続けると早送りができます。

※「時」のセットのとき午前(A)/午後(P)、または24時間制にご注意ください。



5. 「分」のセット

①ボタンを押します

→「分」が点滅します。



6. セットを終わる

①ボタンを押して、点滅を止めます

※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■都市コード一覧

コード	都市名	時差
---		-11
HNL	ホノルル	-10
ANC	アンカレジ	-9
LAX	ロサンゼルス	-8
DEN	デンバー	-7
CHI	シカゴ	-6
NYC	ニューヨーク	-5
CCS	カラカス	-4
RIO	リオデジャネイロ	-3
---		-2
---		-1
GMT	<グリニッジ標準時>	+0
LON	ロンドン	+0
PAR	パリ	+1
CAI	カイロ	+2
JRS	エルサレム	+2

コード	都市名	時差
JED	ジェッダ	+3
THR	テヘラン	+3.5
DXB	ドバイ	+4
KBL	カブール	+4.5
KHI	カラチ	+5
DEL	デリー	+5.5
DAC	ダッカ	+6
RGN	ヤンゴン	+6.5
BKK	バンコク	+7
HKG	香港	+8
TYO	東京	+9
ADL	アデレード	+9.5
SYD	シドニー	+10
NOU	ヌーメア	+11
WLG	ウェリントン	+12

*この表は2005年6月現在作成のものです。

*時差は協定世界時(UTC)を基準としたものです。

アラーム・時報の使い方

■アラーム・時報について

●通常アラーム（アラーム1～アラーム5）

設定した時刻になると10秒間の電子音が鳴ります。

●スヌーズアラーム（アラーム1のみ）

スヌーズ機能をONにすると、設定した時刻に10秒間の電子音が鳴り、5分おきに合計7回（約30分間）報音を繰り返します。

なお、スヌーズアラームのときは、ボタンを押して音を止めても再び鳴り出します。

●時報

毎正時（00分のとき）に“ピッピッ”と電子音を鳴らすことができます。

時刻モードから④ボタンを4回押して、アラームモードに切り替えます。

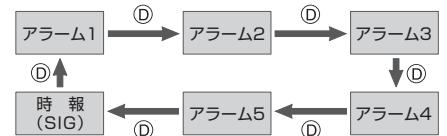
■アラーム時刻のセット

1. アラームを選ぶ

④ボタンを押します

→④ボタンを押すごとに表示が以下の順で切り替わります。セットしたいアラームを選びます。

※アラーム1では「ALM」と「SNZ」が1秒ごとに切り替わって表示されます。



(進む)

2. セット状態にする

④ボタンを約1秒間押します

→「時」が点滅します。

※アラームマーク“”が点灯し、自動的にアラームONになります。



アラームマーク

4. 点滅箇所のセット

④または⑤ボタンを押します

→④ボタンを押すごとに1つずつ進み、⑤ボタンを押すごとに戻ります。



(戻る)
(進む)

※④・⑤ボタンとも、押し続けると早送りができます。
※「時」のセットのとき午前（A）／午後（P）、または24時間制にご注意ください。

※基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

手順3.と4.の操作を繰り返して、アラーム時刻をセットします。

5. セットを終わる

④ボタンを押して、点滅を止めます

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

●アラーム1がスヌーズアラームのときにセット操作を行ないますと、スヌーズ機能はOFFになります。

■アラーム・時報のON/OFF設定

準備：④ボタンを押して、設定したいアラームまたは時報（SIG）表示を選びます。

④ボタンを押します

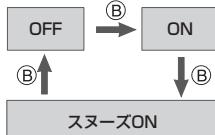


アラームマーク

→④ボタンを押すごとに、以下のようにアラーム・時報のON/OFFが切り替わります。

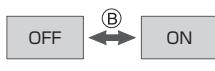
※それぞれのマークが点灯しているときがONとなり、アラーム・時報が鳴ります。

●アラーム1



スヌーズON

●アラーム2～5、時報



スヌーズON

■鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

※スヌーズアラーム機能中のときは、約5分後に再び鳴ります（スヌーズ中はスヌーズONマークが点滅します）。

※スヌーズアラーム機能中のときには以下の操作を行ないますと、スヌーズアラーム機能が中断されます。

- アラームモードでアラーム1をOFFにしたり、通常のアラームに切り替えたとき。
- アラームモードでアラーム1をセット状態にしたとき。
- 時刻モードで時刻セット状態にしたとき。

■モニターアラーム

アラームモードで④ボタンを押し続けると、押している間、電子音が鳴ります。

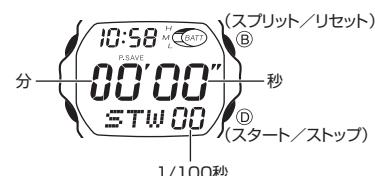
ストップウォッチの使い方

時刻モードから④ボタンを5回押して、ストップウォッチモードに切り替えます。

■計測のしかた

④ボタンを押します

→④ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。

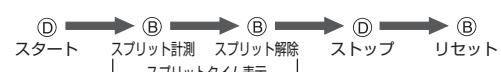


●通常計測



積算計測…口タイムのあるときは、ストップ後リセットせずに④ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測



●1・2着同時計測



●計測中に④ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります（“SPL”表示）。
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。
●計測終了後④ボタンを押すと、計測値が0に戻ります（リセット）。

時刻・カレンダーの合わせ方

二次電池が完全に空になった後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

■ 時刻・カレンダーのセット

1. セット状態にする

- Ⓐ ボタンを約1秒間押します

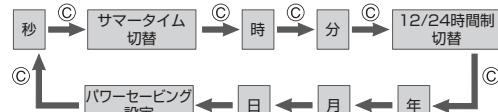
→「秒」が点滅します。



2. セット箇所を選ぶ

- Ⓑ ボタンを押します

→Ⓑ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。セッティングしたい箇所を点滅させます。



以下の操作は時刻モードで行ないます。

3. 点滅箇所のセット ★「秒」セットのときは…

- 時報に合わせて Ⓐ ボタンを押します

→「00秒」からスタートします。
※ 秒が 00 ~ 29 のときは切り捨てられ、30 ~ 59 のときは 1 分繰り上がり 「00秒」になります(時報は「時報サービス 117 番」が便利です)。



★「サマータイム切替」のときは…

- Ⓑ ボタンを押します

→サマータイムの ON / OFF が切り替わります。

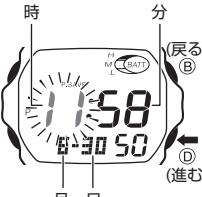


※ On = サマータイム ON (夏時間)
Off = サマータイム OFF (通常時間)
※ サマータイムを ON にすると、DST マークが点灯して、通常の時刻より 1 時間早まります。
* サマータイム (DST) については「サマータイム (DST) について」参照。

★「時」「分」「年」「月」「日」セットのときは…

- Ⓐ または Ⓑ ボタンを押します

→Ⓐ ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。



★「12/24 時間制切替」のときは…

- Ⓑ ボタンを押します

→12時間制表示 "12H" と 24 時間制表示 "24H" が切り替わります。



★「パワーセービング設定」のときは…

- Ⓐ ボタンを押します

→パワーセービング機能の ON / OFF が切り替わります。



* On = パワーセービング機能 ON
Off = パワーセービング機能 OFF

* パワーセービング機能をONにすると、パワーセービングマークが点灯します。

4. セットを終わる

- Ⓐ ボタンを押して、点滅を止めます

※ 点滅表示のまま 2 ~ 3 分間すると、自動的に点滅が止まります。